

授業科目	公衆衛生看護方法論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	開講年次	3	開講時期	前期					
担当教員	布花原 明子										
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として行政保健師の経験を活かし、地域を対象とした公衆衛生看護活動の方法と保健師の役割について授業を進めます。保健師は人々の生活の基盤である地域を担当し、地域の人口集団の健康に責任をもって保健師活動を実践しています。授業では、2年生「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」で学んだ保健師活動を地域で効果的に展開するために、担当地域の地域診断と地区活動のPDCA、自治体行政職として施策化、事業化の機能、住民や関係機関と連携・協働しネットワークや地域ケアシステムを構築する活動など、活動の基盤となる公衆衛生看護の方法を学びます。授業の前半では、担当地域を設定し地域診断の一部を体験的に理解できるようグループワークで授業を進めていきます。</p>										
授業形態	講義			授業方法	グループワーク						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>地域（人口集団）を対象とした公衆衛生看護活動の方法と保健師の役割について説明できる。地域診断では、担当地域の人口統計・保健統計データ及び地域概要の情報を抽出し、アセスメントした内容を資料化して説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域診断モデルを説明できる(DP2)。</li> <li>2. 地域の保健統計データをアセスメントし説明できる。(DP4, PD2, Dp3)。</li> <li>3. 地区活動のPDCAを説明できる(DP2)。</li> <li>4. 保健事業計画と評価を説明できる(DP2)。</li> <li>5. 施策化・事業化のプロセスと保健師の役割を説明できる(PD2)。</li> <li>6. 地域ケアシステムの構築と保健師の役割を説明できる(PD2)。</li> </ol>										
理想的レベル	標準レベルに加え、地域診断に関する保健医療統計データ（医療費や健診結果など）を検索し理解できる。また、公衆衛生看護活動に関心を持ち、関心のあるテーマについてジャーナル等を読み理解を深めることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験		60%									
小テスト											
レポート		20%									
発表（口頭、プレゼンテーション）		20%									
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21504J

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
授業内容の復習と次回授業の準備		4
授業計画		
第1回	オリエンテーション*集団の健康状態を表す保健統計指標の振り返り 地域における保健師の活動指針 地域診断モデル（コミュニティアズパートナーモデル・プリシードプロシードモデル） 担当：布花原明子	
第2回	地域診断-担当地域の情報収集の方法、アセスメントの視点、健康課題の優先順位- e-Stat 基本的操作のオリエンテーション 担当：布花原明子	
第3回	地域診断-地域の人口特性、歴史- 担当：布花原明子	
第4回	地域診断-地域の人口と世帯の特性- 担当：布花原明子	
第5回	地域診断-地域の生活環境 コミュニティアズパートナーモデル（8つのサブシステム）- 担当：布花原明子	
第6回	地域診断-死亡数・粗死亡率の経年推移及び全国・他地域との比較- 担当：布花原明子	
第7回	地域診断-男女別年齢調整死亡率の推移及び全国・他地域との比較 担当：布花原明子	
第8回	地域診断-発表・意見交換及び振り返り 担当：布花原明子	
第9回	公衆衛生看護活動を発展させるための計画・実践・評価 担当：布花原明子	
第10回	地域診断事例を通して地域診断・計画・評価における視点を深める（発表・グループ間意見交換） 担当：布花原明子	
第11回	自治体の予算の流れと保健事業のPDCA 担当：布花原明子	
第12回	データヘルスの実際、保健医療福祉における保健師の施策化・事業化の役割 担当：布花原明子、北九州市保健福祉局健康増進課 保健師	
第13回	国・地方公共団体の保健医療福祉計画 担当：布花原明子	
第14回	地域におけるケアシステムの構築のプロセスと発展過程 担当：布花原明子	
第15回	地域アセスメントに基づいた公衆衛生看護活動の方法-個人・家族から集団、地域へ-（まとめ）	

	担当：布花原明子
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村裕美子編：標準看護学講座1 公衆衛生看護学概論，医学書院</li> <li>・中村裕美子編：標準看護学講座2 公衆衛生看護技術，医学書院</li> </ul> <p>「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護技術論」で用いたテキストを使用します。その他、必要な資料は配布します。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上野昌江編：公衆衛生看護学第3版，中央法規出版</li> <li>・平野かよこ編：最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論，ぎょうせい社（第1章・2章・6章）</li> <li>・金子仁子編：行政看護学，日本看護協会出版会</li> <li>・保健師ジャーナル（医学書院）</li> <li>・政府統計 e-Stat</li> <li>・自治体 HP</li> </ul>
課題に対するフィードバックの方法	受講生全体で共有することが望ましい内容は、授業時にフィードバックする。また個別にコメントをつけて返却する。
学生へのメッセージ・コメント	<p>本科目は保健師課程国家試験受験資格取得に必要な知識と技術を修得する科目であるため、「疫学」「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」「産業看護論」を履修していることが望ましい。また、授業の前半に実施する地域診断（導入）ではグループ課題も多いため、主体的な学習意欲と態度を期待します。また、公衆衛生看護の専門技術ではありませんが、保健師業務では、エクセル、word は欠かせないリテラシーであるため使えるようになってください。</p>